



「交流サロン」だより

in大仙 4月号

2023

今年度も秋田県や大仙市さらには、アキタパートナーシップ、秋田県南NPOセンターなどのご協力のもとで交流サロンの開催並び「交流サロンだより」の発行を行わせていただきます。

さて、今年度も昨年度と同程度の活動が出来るとの予想に基づき計画を進めています。最近の数値の状況を見ると、新型コロナの感染が拡大傾向にあるのではとの不安はありますが、この三年間培ってきた、感染対策を怠らず確実に実行することで、楽しく集える「交流サロン」を維持できると考えています。また、以前から唱えてきましたが、これからの活動は、被災者、支援者の垣根を超え、地域にこだわらず幅広く交流をすることが課題ではないでしょうか。さらには、被災者の被災体験を生かし、「防災」や「減災」に役立つ活動が出来れば良いなと思っております。東日本大震災から12年が過ぎ、あの未曾有の大災害が忘れ去られるのでは無いかという危機感は、常に持っています。和気あいあいと昼食を食べて、談笑し、時には、被災者の体験を聞いて、あの日を振り返り、気を引き締める、そんな交流サロンは如何ですか。

マイフォト一言

一週間以上も早まった、桜の開花、咲くまでは、初夏のような天気が続いたので、その後を期待していましたが、花が咲き始めたら曇りや雨と低温、さらには中国からの黄砂、おまけに強風と、寒さのお陰で開花期間が長引いてくれたのはありがたい事でしたが、真っ青な青空に浮かぶピンクの桜を狙っていた私にとっては、悔しい限りの桜の季節となってしまいました。と言いながらあきらめきれずに、その後、三日ばかり青空を求めてさまよい続けましたが.....

マイフォト「桜さん！通過します」 令和5年4月14日



令和5年4月15日

さくらまつり一題!!
中仙道の駅裏、齊内川堤防の桜です!!前述の通り、空は黄砂でどんより...

5月の交流サロン
4月28日(日)
午前「折り紙」
午後「災害から身を守る」と言う表題で東日本大震災の体験を基に講話を行います。

昼食代(大人二百円)

感染症予防のため、マスクのご持参をお願い致します。

今月の交流サロンから!!

今年度、最初の「交流サロン」ということで、10名ほどの参加がありました。今年度の計画を発表、それに伴う大曲駅連絡通路の展示内容のテーマについて協議を行い今年の干支ウサギがいいのではとの案が提示されました。参加者が久しぶりに二けたとなり昼食にチョット手間取りましたが美味しくいただきました。〈本日のメニュー〉新玉ねぎの炊き込みご飯、筍のバター醤油炒め、青菜のからし和え、アサリとワカメのスープ、新キヤベツ漬けなどでしたが、やっちゃんいきました、スープのアサリの塩味加減を読み違えて塩辛くなってしまいました。貝が含む塩味には、お気を付けください。



折り紙で干支のウサギを作る



「交流サロン」今日の昼食から

東日本大震災による避難者を

支援する秋田県南連絡協議会

発行 「大仙フレンズ」 担当 高橋 和美

連絡先 〇九〇一九六七〇一一八五二